

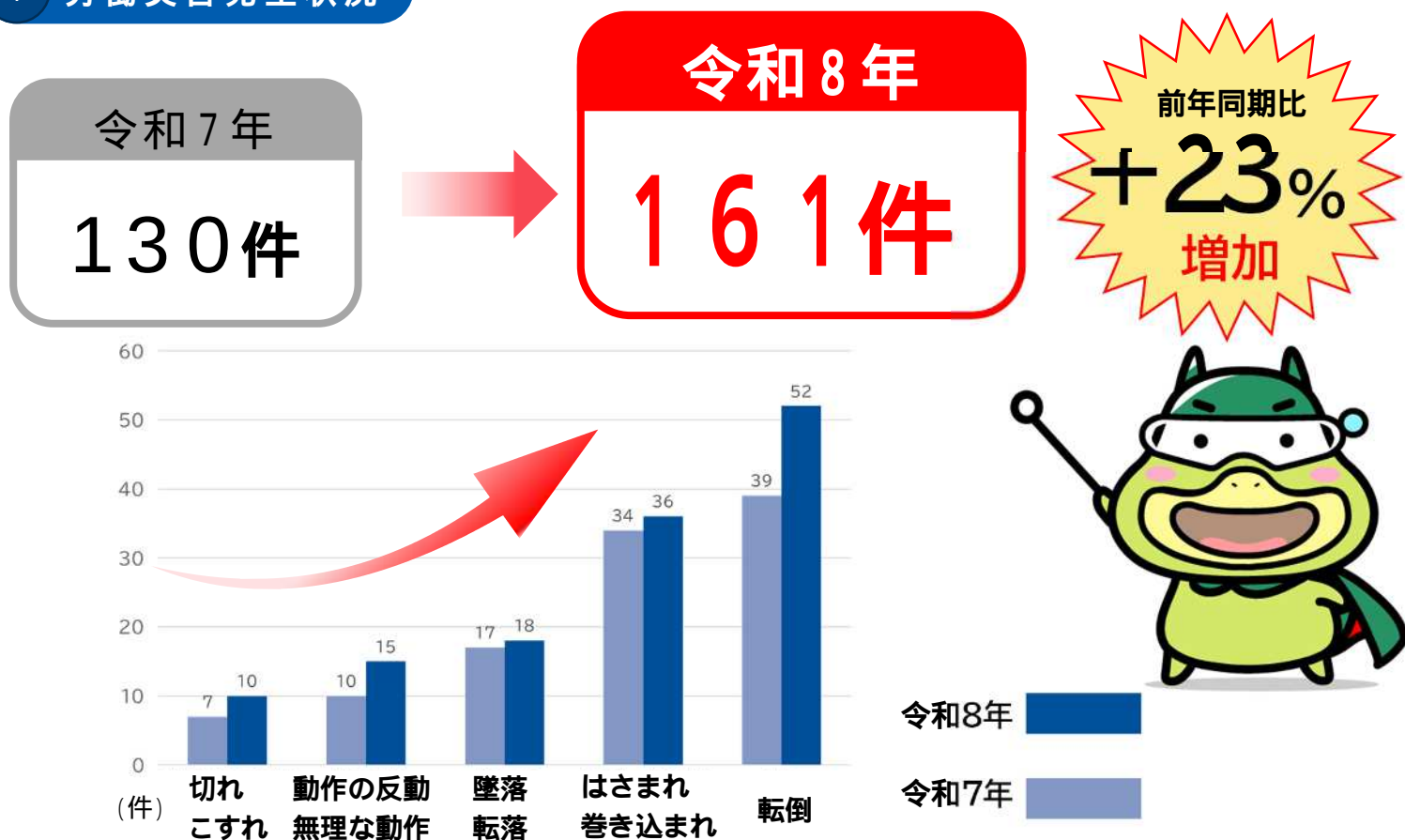
製造業の労働災害が 大幅に増加しています!!



富山県内では、製造業の事業場における労働災害（休業4日以上死傷者数、令和8年6月末現在速報値）が、前年同期と比べ大幅に増加しています。事故の型別では「転倒」の増加が顕著で、濡れた床面などでの「滑り」によるものが多発しています。また、機械を停止せずに作業を行ったことによる「はさまれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」も発生しています。労働災害防止のための対策をお願いいたします。

1 労働災害発生状況

（製造業の休業4日以上死傷者数、各年とも6月の速報値）



2 災害発生事例

事故の型	発生状況	年代	休業見込期間
転倒	床の水濡れで滑って転倒し、床に手をついて手首を骨折した。	50代	1か月
はさまれ・巻き込まれ	クレーンで吊った製品を素手で支えていたところ、吊り荷が落下し、製品と台車の間に挟まれて骨折した。	20代	2か月
はさまれ・巻き込まれ	攪拌機を運転させながら機械の清掃を行っていたところ、攪拌羽根に腕を巻き込まれ骨折した。	70代	12か月
切れ・こすれ	板を丸鋸盤で切断中、板を両手で支えていた際に指が刃に触れ、切断した。	60代	1か月
墜落・転落	はしごに登って作業中、バランスを崩して墜落し、足を骨折した。	60代	2か月

3 労働災害防止対策



転倒

製造の作業場は、水や油で床が滑りやすくなっていることが多くあります。また、靴底の摩耗や靴底への異物の付着により滑って転倒する事例も発生しています。

<すぐにチェック☑>

- ☐ 床の水濡れや油汚れを発見したら、直ちに拭き取り清掃する。
- ☐ 靴底の摩耗状況を確認し、定期的に交換する。



はさまれ・巻き込まれ

機械の運転を停止させないまま、清掃や保守、異物の除去などのため、機械の可動部分に身体の一部を入れたことにより発生するものがほとんどです。

<すぐにチェック☑>

- ☐ 機械の清掃や保守、異物の除去などの際は、機械の運転を停止することを徹底させる。
- ☐ インターロック機構、安全ガード、非常停止ボタンの設置など、機械の安全化を図る。

切れ・こすれ

加工用機械には鋭利な刃部が多くあり、通常作業時のほか、分解・調整作業の際にも十分な注意が必要です。

<すぐにチェック☑>

- ☐ 機械の分解・調整作業等の際は、機械の運転を停止することを徹底させる。
- ☐ 刃物を取り扱う際は、切創防止保護手袋を使用する。



リスクアセスメントを実施しましょう !!

労働災害を未然に防ぐためにもリスクアセスメントを実施しましょう。

【実施手順】

危険性又は有害性を洗い出し、特定する。

リスクを見積る。

そのリスクを低減するための措置(リスク低減措置)を検討する。

リスク低減措置を実施するとともに、その結果を記録する。



(職場のあんぜんサイト)

エイジフレンドリー補助金を活用しましょう !!

高年齢労働者の労働災害防止のための設備改善や専門家による指導など経費の一部を補助します。

【注意】予算額に達した場合は、受付期間の途中で受付けも申請受付を終了することがあります。

申請先や申請期間について詳しくはこちら →

(申請期間: 令和8年5月20日 ~ 令和8年10月31日) (エイジフレンドリー補助金)

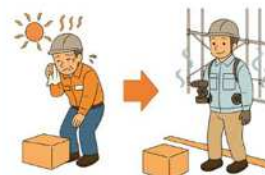
令和8年4月1日より、高年齢労働者の特性に応じた

労働災害防止対策を講じることが努力義務となりました !!



【導入事例】

暑熱環境での作業



空調服の導入